

令和3年 高年齢労働者の労働災害発生状況

令和4年5月30日

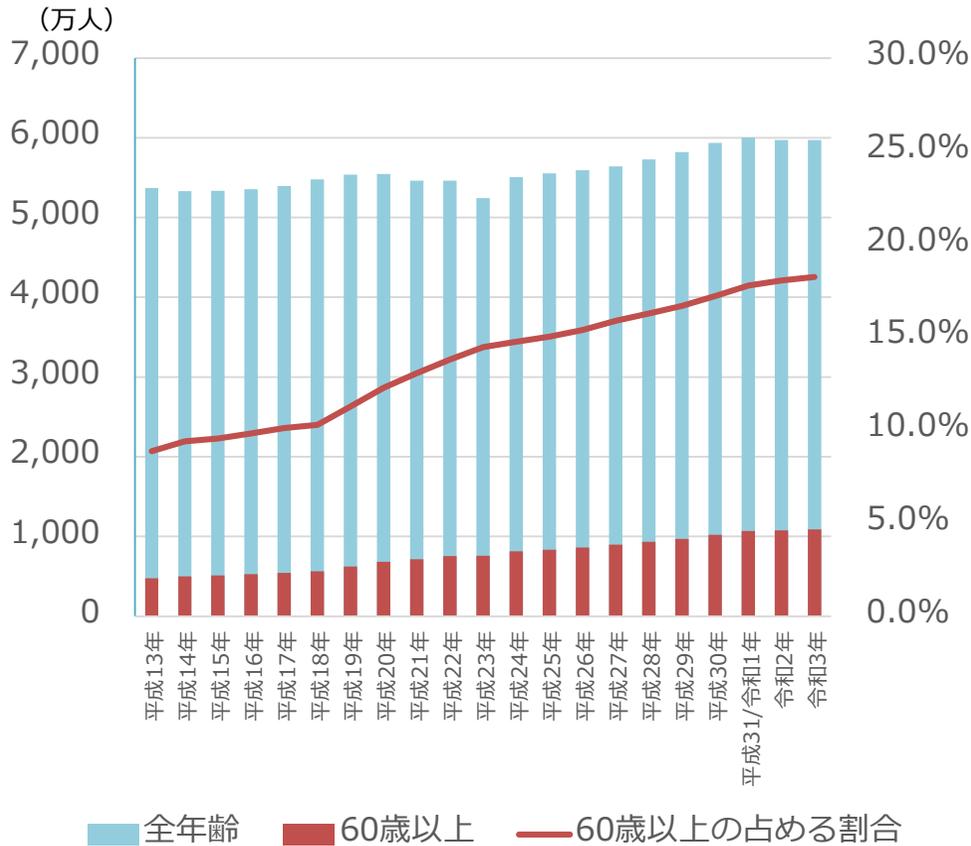
厚生労働省労働基準局

安全衛生部安全課

高齢者の就労と被災状況

雇用者

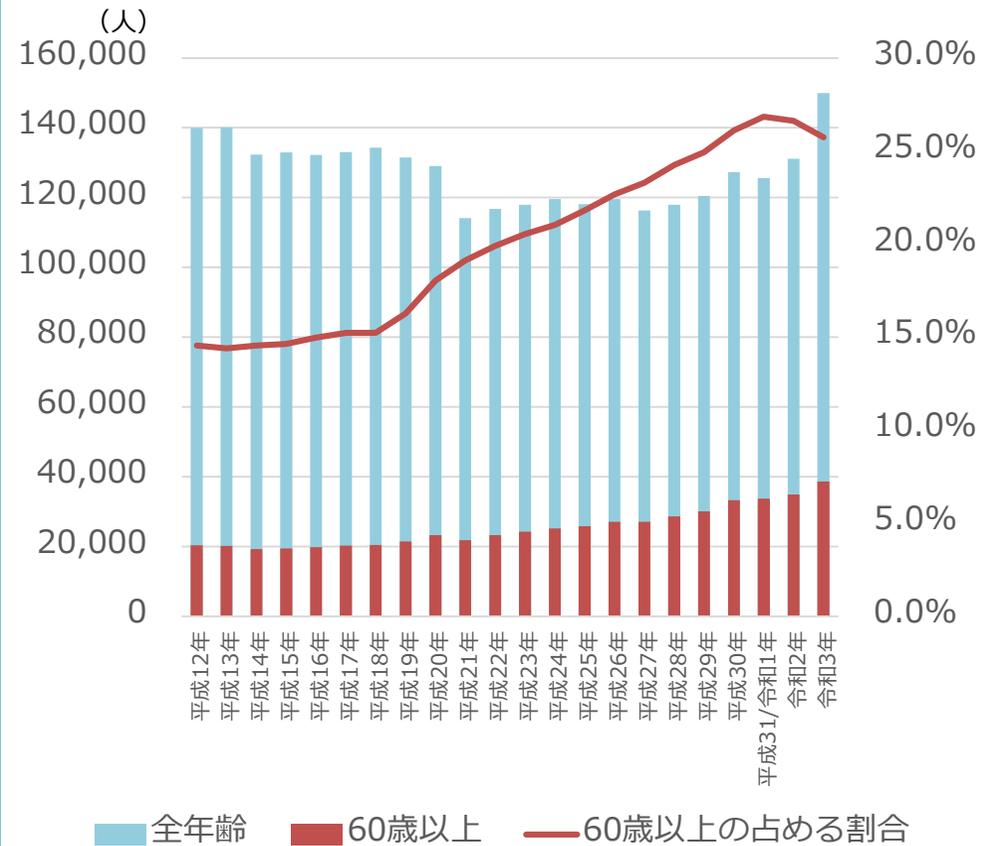
全年齢に占める60歳以上の占める割合



資料出所：労働力調査（総務省）における年齢別雇用者数（役員を含む。）
 ※平成23年は東日本大震災の影響により被災3県を除く全国の結果となっている。

労働災害による死傷者数

全年齢に占める60歳以上の占める割合



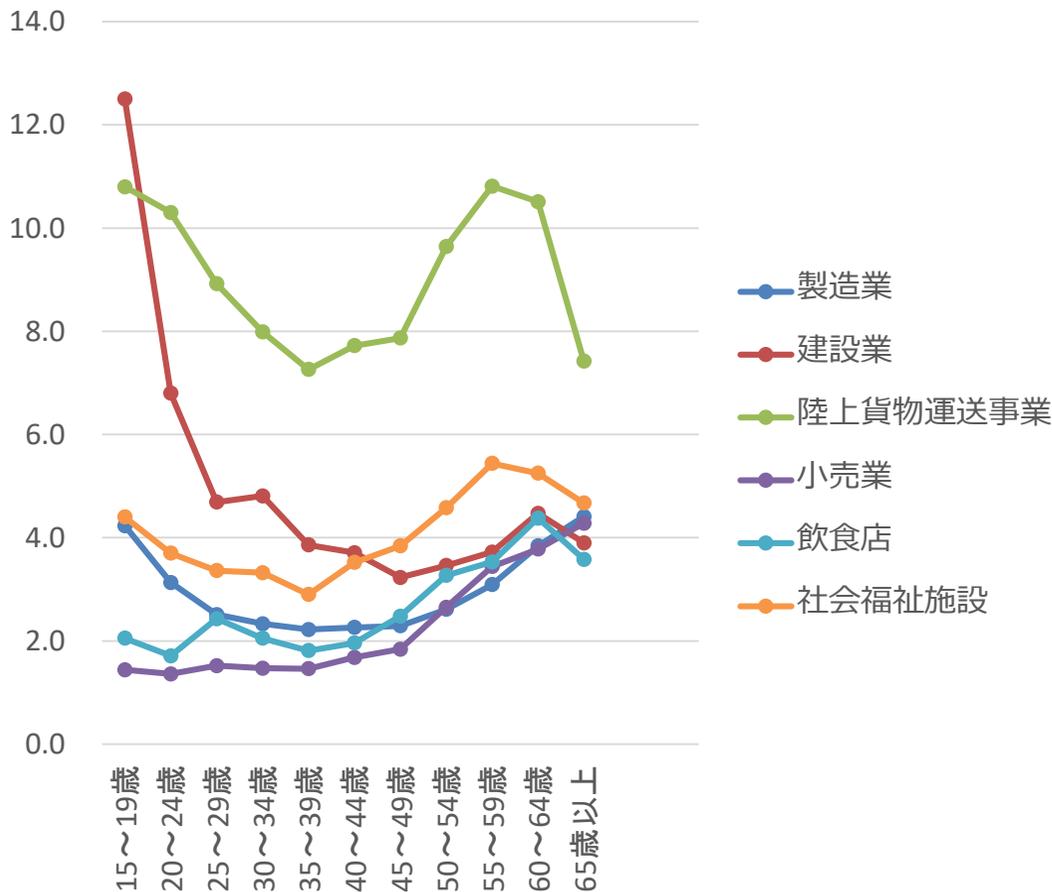
資料出所：労働者死傷病報告

- ◆ 雇用者全体に占める60歳以上の高齢者の占める割合は18.2%(令和3年)
- ◆ 労働災害による休業4日以上の死傷者数に占める60歳以上の高齢者の占める割合は25.7%(同)

高年齢労働者の労働災害の特徴① 年齢別・男女別・業種別の傾向

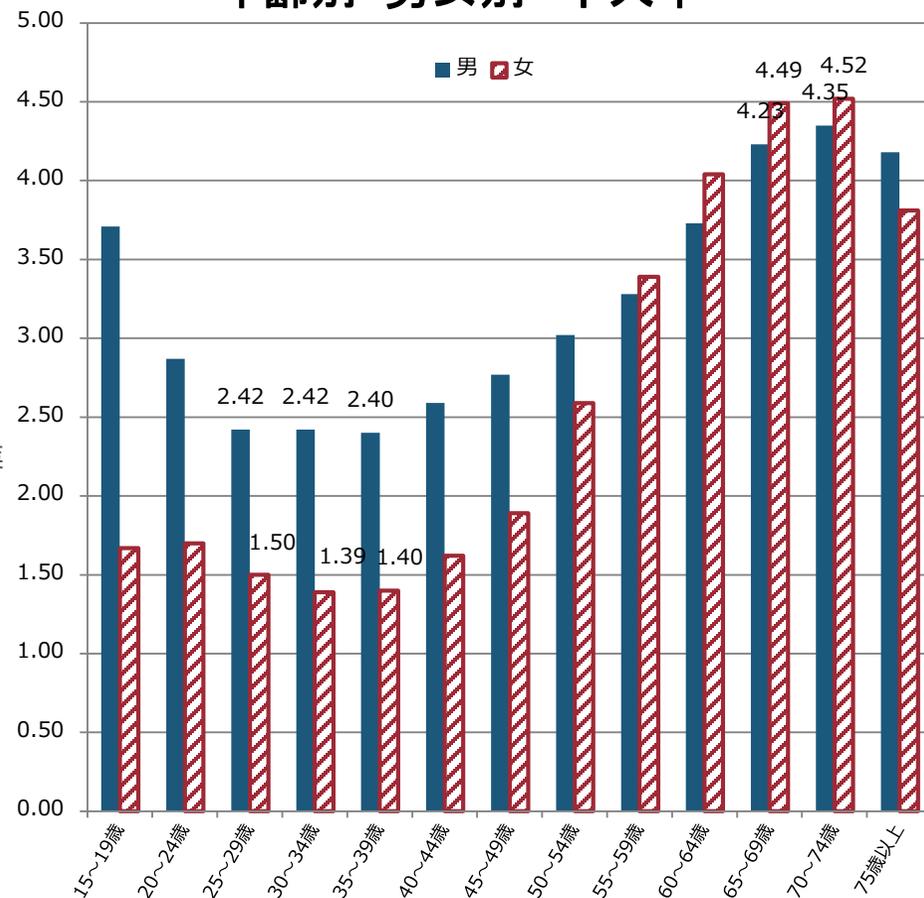
- ・ **労働災害発生率（千人率）は、男女ともに、若年層と高年齢労働者で高い。**
- ・ 65～74歳の労働災害発生率（千人率）を、30歳前後の最小値と比べると、**男性で約2倍、女性で約3倍。**

年齢別・業種別 千人率



データ出所：労働者死傷病報告（令和3年）
 労働力調査（基本集計・年次・2021年）
 ※1年間の平均労働者数として、「役員を含んだ雇用者数」を用いている。

年齢別・男女別 千人率



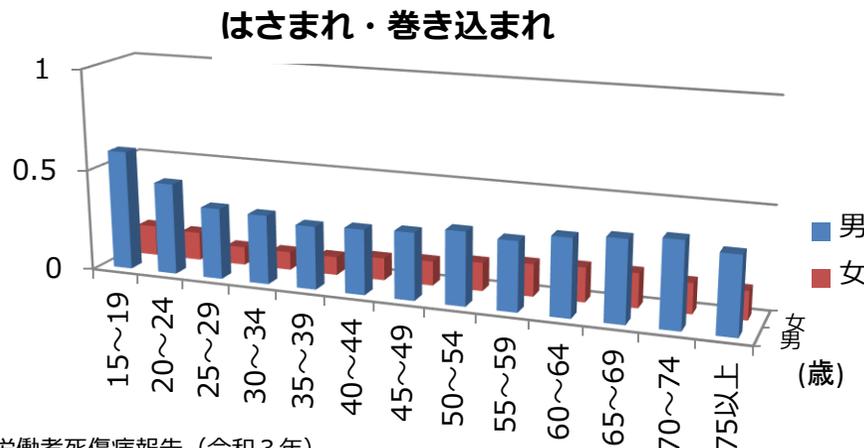
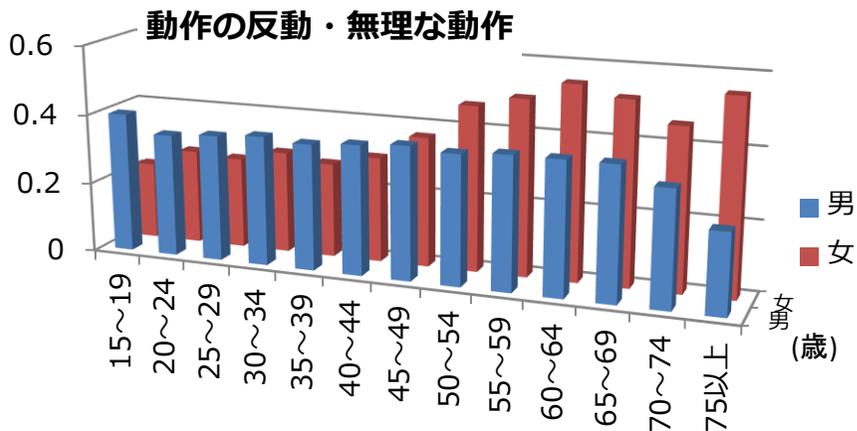
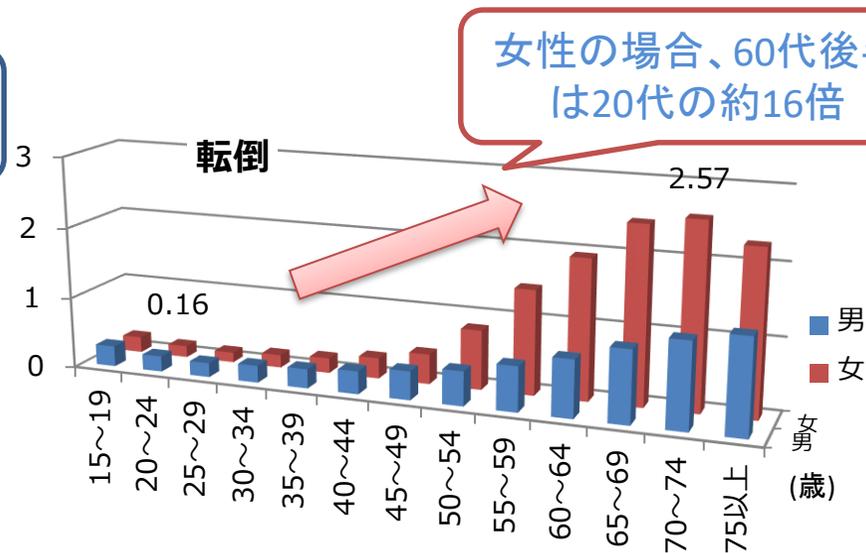
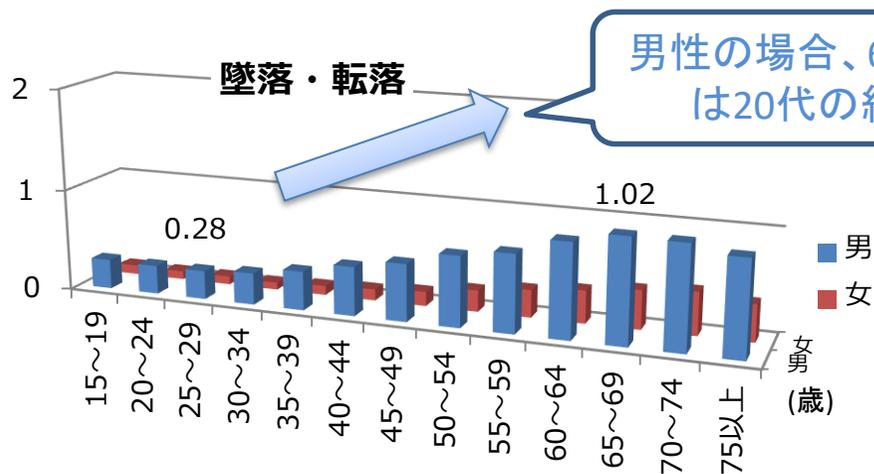
※千人率 = 労働災害による死傷者数 / 平均労働者数 × 1,000
 ※便宜上、15～19歳の死傷者数には14歳以下を含めた。

データ出所：労働者死傷病報告（令和3年）
 労働力調査（基本集計・年次・2021年）

高年齢労働者の労働災害の特徴② 年齢別・男女別の傾向（事故の型別の分析）

・転倒は、高年齢になるほど労働災害発生率が上昇。高齢女性の転倒災害発生率は特に高い。

⇒ 年齢の上昇に着目した対策は転倒、墜落・転落で特に重要な課題（とりわけ高齢女性の転倒防止）



※千人率 = 労働災害による死傷者数 / その年の平均労働者数 × 1,000

※便宜上、15~19歳の死傷者数には14歳以下を含めた。

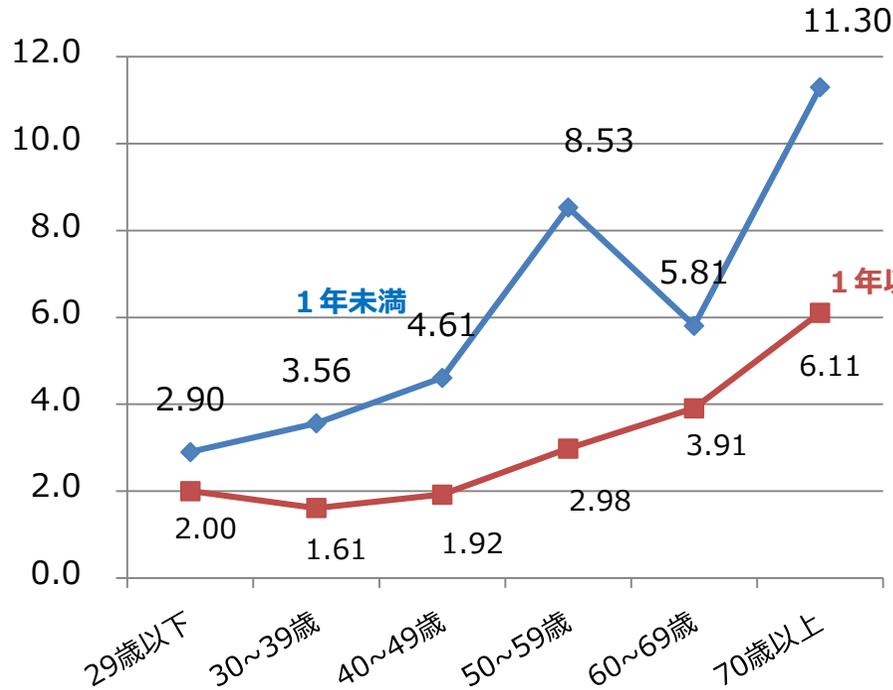
データ出所：労働者死傷病報告（令和3年）

：労働力調査（基本集計・年次・2021年）

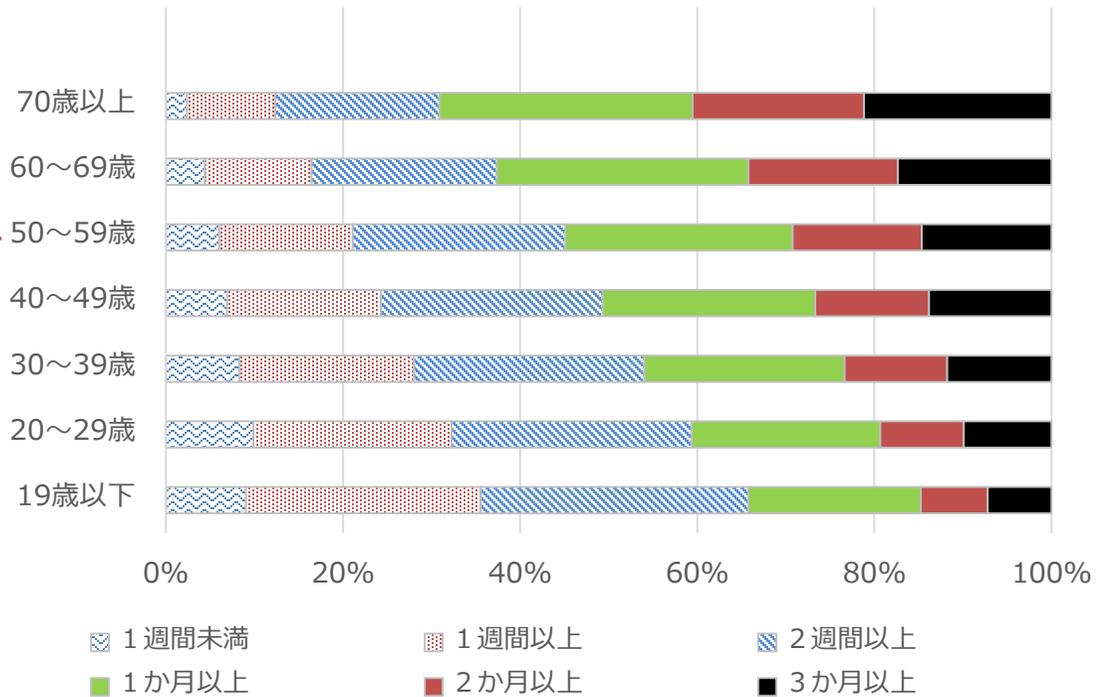
高年齢労働者の労働災害の特徴③ 年齢と経験期間の影響・休業見込み期間

- ・ 災害発生率は、全ての年齢層において**経験期間が短いと高い**。
- ・ 休業見込み期間は、**年齢が上がるにしたがって長い**。

年齢別・経験期間別 千人率



年齢別の休業見込み期間の長さ



※千人率=労働災害による死傷者数/その年の平均労働者数×1,000

データ出所:

労働者死傷病報告 休業4日以上の死傷者数 (令和3年)

就業構造基本調査 全国結果 (平成29年) - 第61表 (雇用者 (会社などの役員を除く。))